

計算書に対する注記

1.重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却について

定額法を採用している。

(2)退職手当引当金について

職員の期末自己都合要支給額を計上している。

(3)消費税等の会計処理について

税込方式によっている。

(4)資金の範囲について

資金の範囲は、流動資産(棚卸資産を除く)及び流動負債である。

なお、前期末及び当期末の次期繰越収支差額は、下記に記載するとおりである。

(単位:円)

科目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金預金	77,919,233	84,918,544
未収金	3,462,000	6,764,443
前払金	2,825,628	2,548,123
仮払金	297,740	0
合 計	84,504,601	94,231,110
預り金	144,107	297,649
未払金	457,528	3,622,097
前受金	483,000	4,316,000
合 計	1,084,635	8,235,746
次期繰越収支差額	83,419,966	85,995,364

2.基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	4,000,000	0	0	4,000,000